平成 25 年 10 月 30 日

各　　位

上場会社名　富士古河Ｅ＆Ｃ株式会社
代表者　代表取締役社長　籾井 丈一郎
(コード番号　1775)
問合せ先責任者　取締役経営企画本部長　明石 亨
(TEL　044-548-4500)

平成 26 年３月期第２四半期の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 25 年４月 24 日に公表しました平成 26 年３月期第２四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．平成 26 年３月期 第２四半期累計期間 業績予想と実績値との差異
（平成 25 年４月１日～平成 25 年９月 30 日）

（１）連結

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）	29,000	80	150	100	2.22
実績値（Ｂ）	26,902	312	419	255	5.68
増減額（Ｂ－Ａ）	△2,097	232	269	155	―
増減率（％）	△7.2	291.0	179.8	155.3	―
(ご参考)前期第２四半期実績 (平成 25 年３月期第２四半期)	27,288	84	147	11	0.25

（２）個別

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）	25,000	△130	△40	10	0.22
実績値（Ｂ）	22,413	8	136	120	2.69
増減額（Ｂ－Ａ）	△2,586	138	176	110	―
増減率（％）	△10.3	―	―	―	―
(ご参考)前期第２四半期実績 (平成 25 年３月期第２四半期)	24,348	△93	4	△25	△0.56

（３）差異の発生理由

第２四半期個別業績につきましては、大型案件の進捗状況が低調に推移したことから売上高は減少しました。また、利益面はコストダウンの一層の推進による収益力の向上に努めたことから、営業利益、経常利益並びに四半期純利益はそれぞれ前回発表値を上回る結果となりました。

第２四半期連結業績につきましては、個別業績やタイ、カンボジア等の海外子会社が好調に推移したことから、前回発表値を上回る結果となりました。

なお、通期の業績予想につきましては、現時点において期初の計画の範囲内で進捗しているため、従前の予想数値を据え置いておりますが、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表させていただきます。

以　上